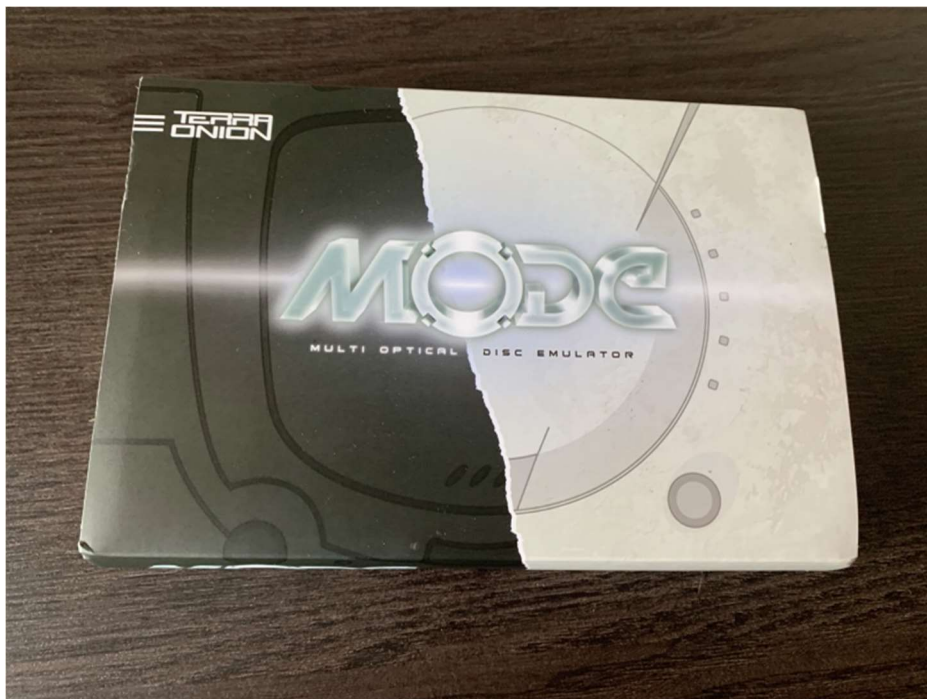


Terraonion MODE SEGA Saturn レビュー

到着そして内容物確認

re-junk さんより待望の MODE が届きました！



早速開封します。同梱物はこんな感じです。



本体、スパーサー×8、補助電源用ケーブル、説明書が入ってます。

早速説明書を見えます。日本語も記載されており、オンラインでダウンロード可能な PDF マニュアルのリンクが記載されているので早速ダウンロードします。

https://downloads.terraonion.com/mode_manual.pdf

このオンラインマニュアルは誰でもダウンロードできるようです。

購入をご検討の方は一読しておくことをお勧めします。

オンラインマニュアルを一通り読んでみましたが、画像多めで非常に見やすく、マニュアルに従って作業すれば問題なく取り付けられそうです。

SSD のセットアップ

早速取り付けていきたいところですが、今回は MODE ならではの SSD を使用していきたいと思いますので、SSD のセットアップを行います。今回はノーブランドの 1TB の SSD を用意しました。

ExFat 形式でフォーマットします。

ルート直下に「Dreamcast」フォルダを作成し、その下にゲームごとにサブディレクトリを作成イメージをコピーしていきます。



イメージはいくつかの形式に対応しており、今回は bin+cue 形式を使用しています。

名前	更新日時	種類	サイズ
Bio Hazard.iso	1996/12/24 23:32	WinRAR 倉庫	503,554 KB
Bio Hazard.wav	1996/12/24 23:32	WAV ファイル	3,446 KB
<input checked="" type="checkbox"/> Bio Hazard.cue	1996/12/24 23:32	CUE Other File (VLC)	1 KB

イメージのコピーが終わりましたら、次に MODE の特長的な COVER モードでのメニュー表示を試すため、本家 HOMEPAGE よりデータベースをダウンロードします。(ダウンロード URL オンラインマニュアルに載ってます)

ダウンロードしたデータベースを解凍し、SSD にルートに配置します。(SEGA Saturn 版は db_sat.bin)

名前	更新日時	種類	サイズ
Dreamcast	2021/01/04 16:25	ファイル フォルダー	
Saturn	2021/01/04 11:02	ファイル フォルダー	
db_sat.bin	2020/11/13 2:11	BIN ファイル	524,208 KB
db_dc.bin	2020/11/13 2:11	BIN ファイル	524,208 KB

取り付け

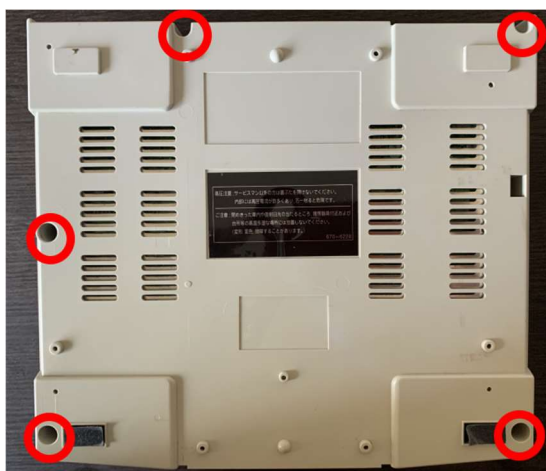
SSDの準備が終わったので、早速取り付けていきます。

今回取り付けるのは、以下の本体です。まともに動いていない状態ですので MODE で復活できるか試してみようと思います。

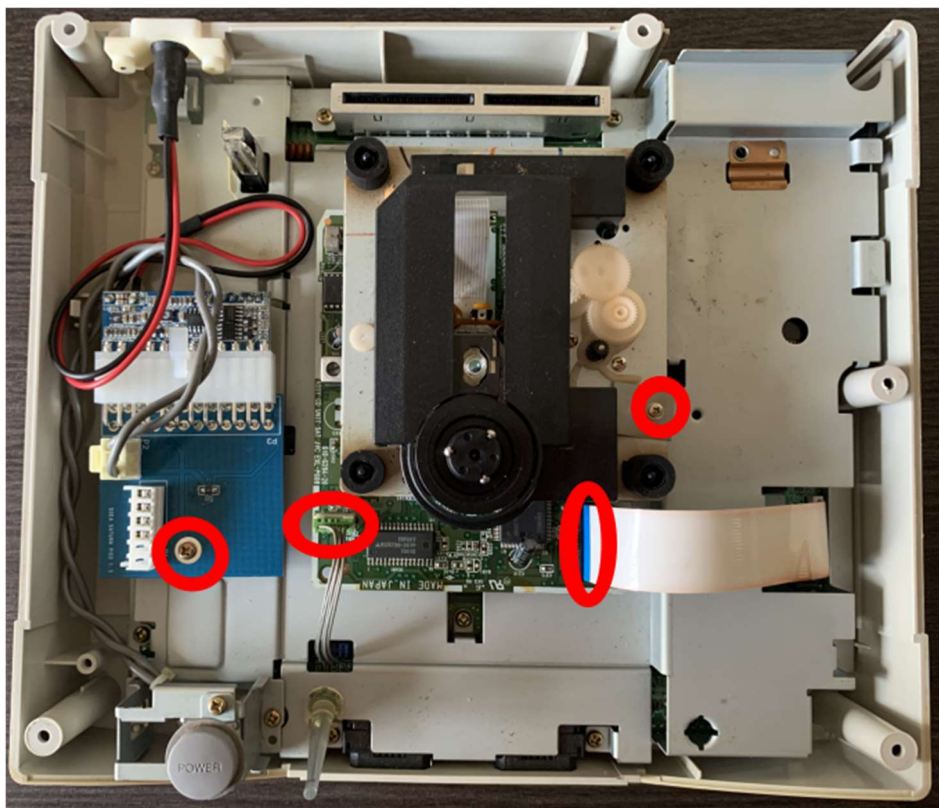
- Disc を認識しない
- トレイのオープンが反応しない
- SEGA SATURN PICO インストール済み



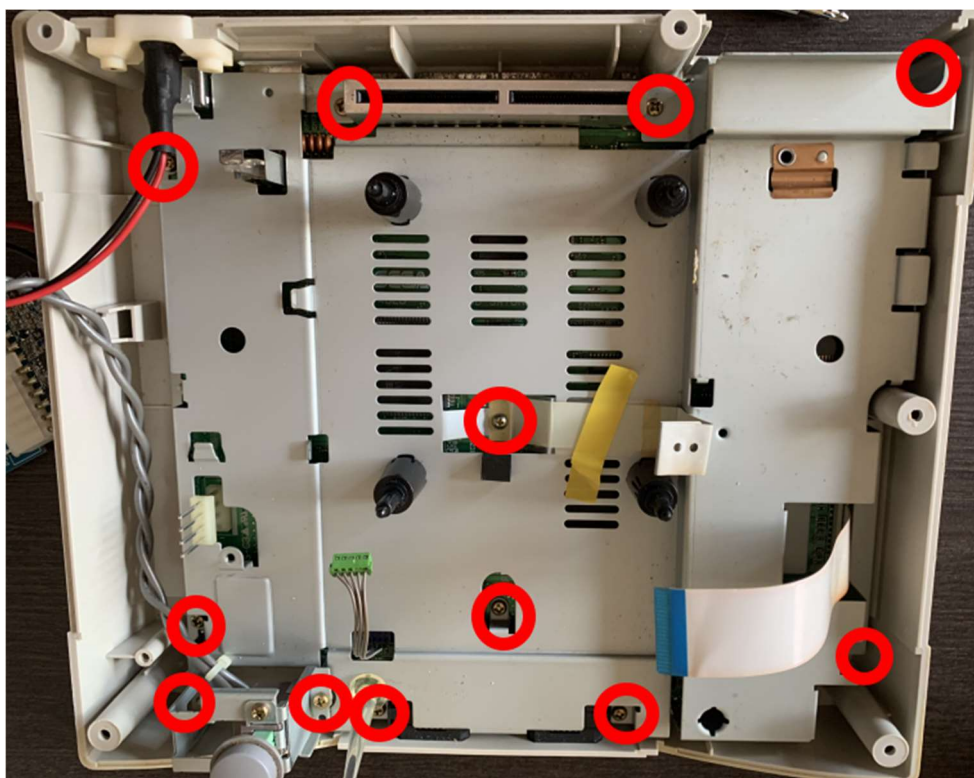
裏面の赤丸部分の4つのネジをプラスドライバーで外します。



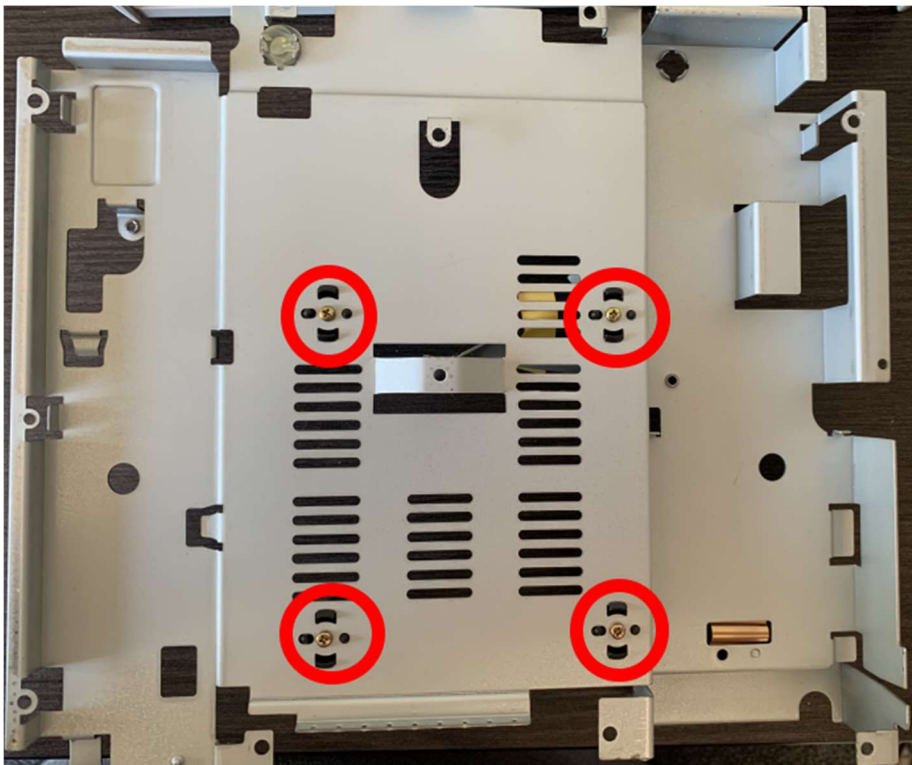
外した状態です。ここから電源ユニットと CD-ROM ユニットを取り外します。
赤丸のネジとケーブルを外します。



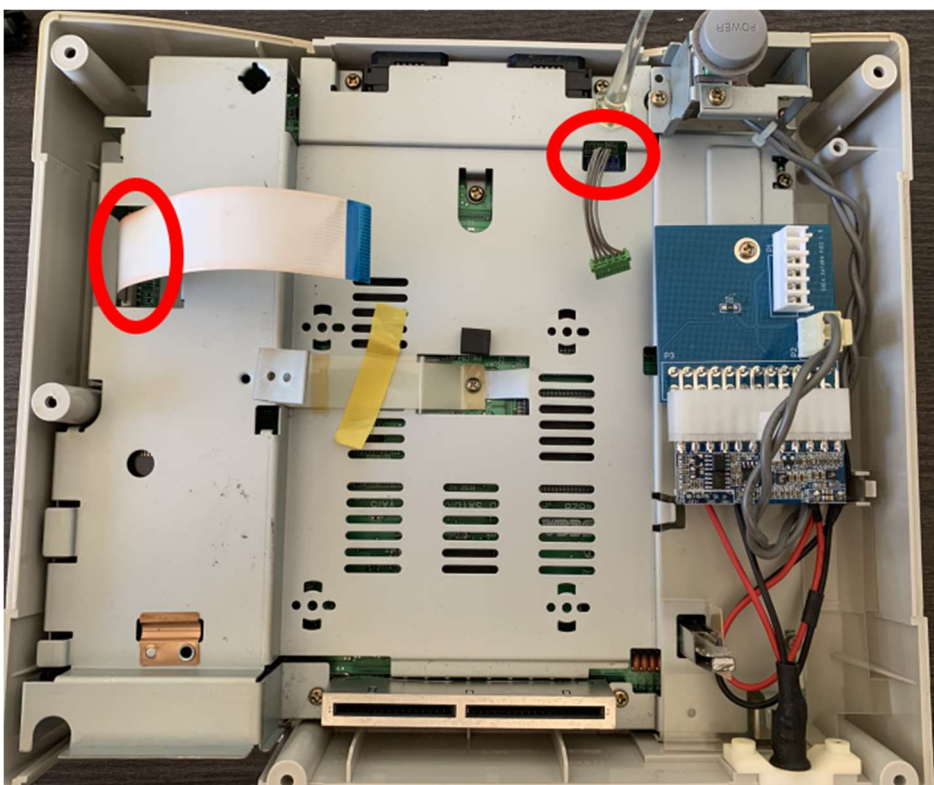
取り外しました。続いて CD-ROM のスペーサーを取り外すため底面のシールドを外します。ネジは赤丸の 1 2 か所です。
この取り外しは、基板のバージョンにより異なります。この基板は **VA15** です



取り外したシールドを裏返して、赤丸のネジを外します。ネジを外し終わったら黒いスペーサーを取り外します。



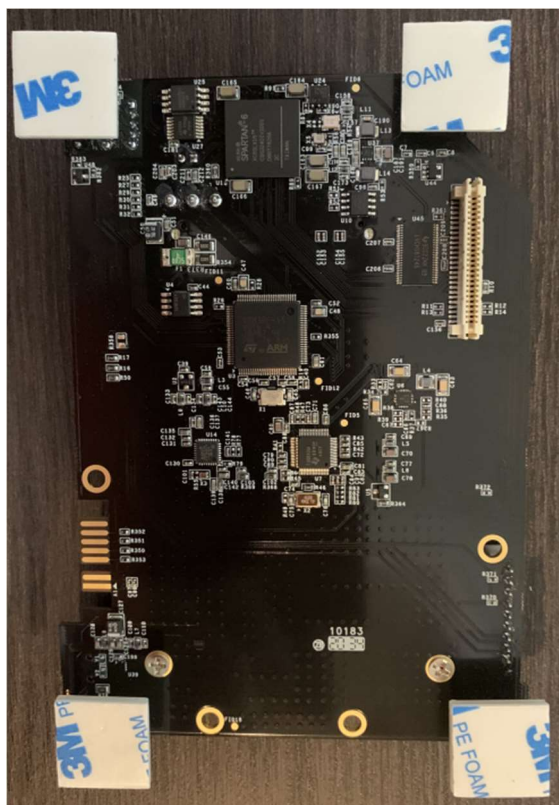
スペーサーを取り外し終わったら、シールドを元に戻します。元に戻す際に赤丸のケーブルが引き出されていることを確認してください。



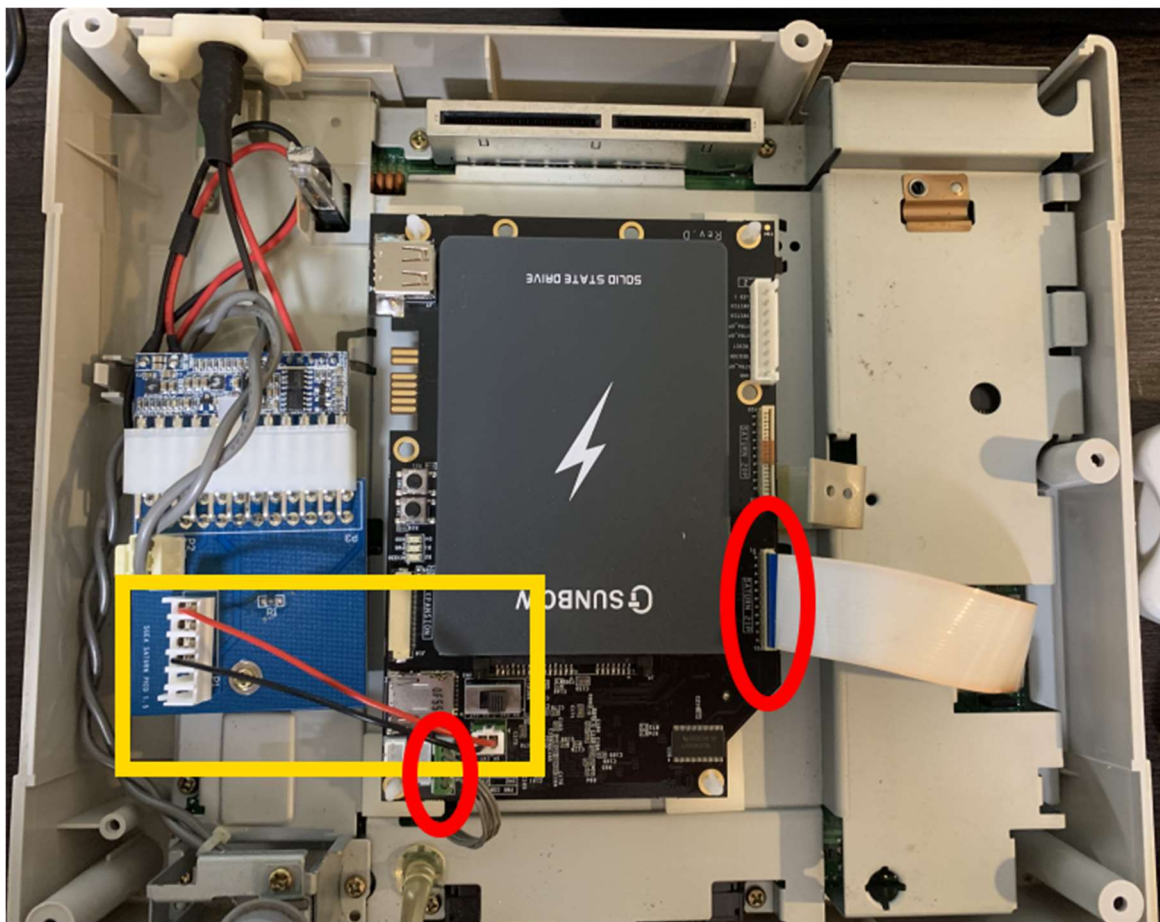
MODE に SSD を取り付けます。付属の 2 つのネジで固定します。



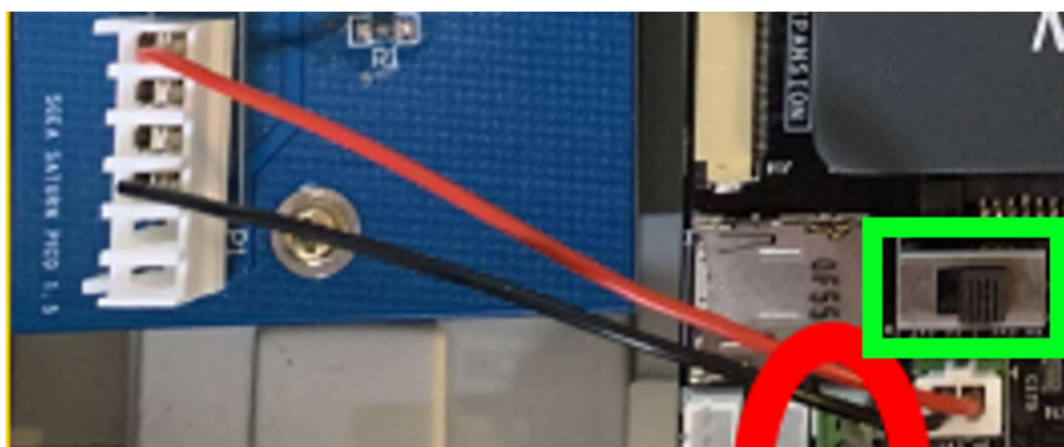
MODE 本体を取り付けるために、スペーサーを 4 か所取り付けます。



SEGA Saturn 本体に MODE を取り付けます。赤丸の 2 つのケーブルと黄枠の補助電源ケーブルを取り付けます。補助電源ケーブルは HDD を接続する場合は必須でした。



黄枠部分の拡大です。緑枠のスイッチを右側(外部電源側)にするのを忘れないでください。



また、フラットケーブルはしっかり差し込んでください。接触不良で起動しない場合があります。取付完了です。本体カバーを閉じます。(後々のテストのためまだねじ止めはしません)

動作確認

SEGA Saturn 本体の電源を入れます。

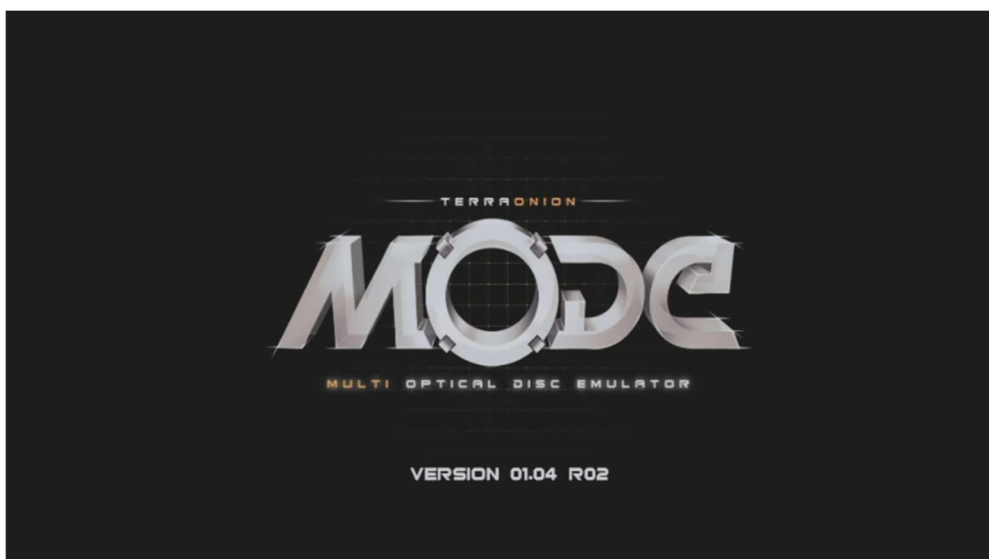
バックアップ電池交換していないため、日付設定の画面が出ます。



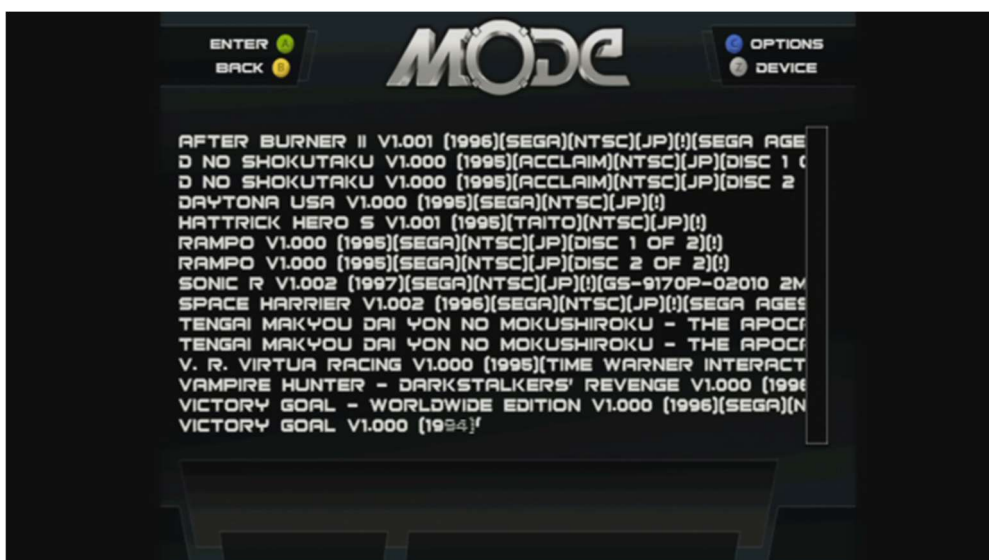
決定ボタンを押して次に進みます。

SEGA のおなじみのロゴの後、MODE のロゴが表示されました！

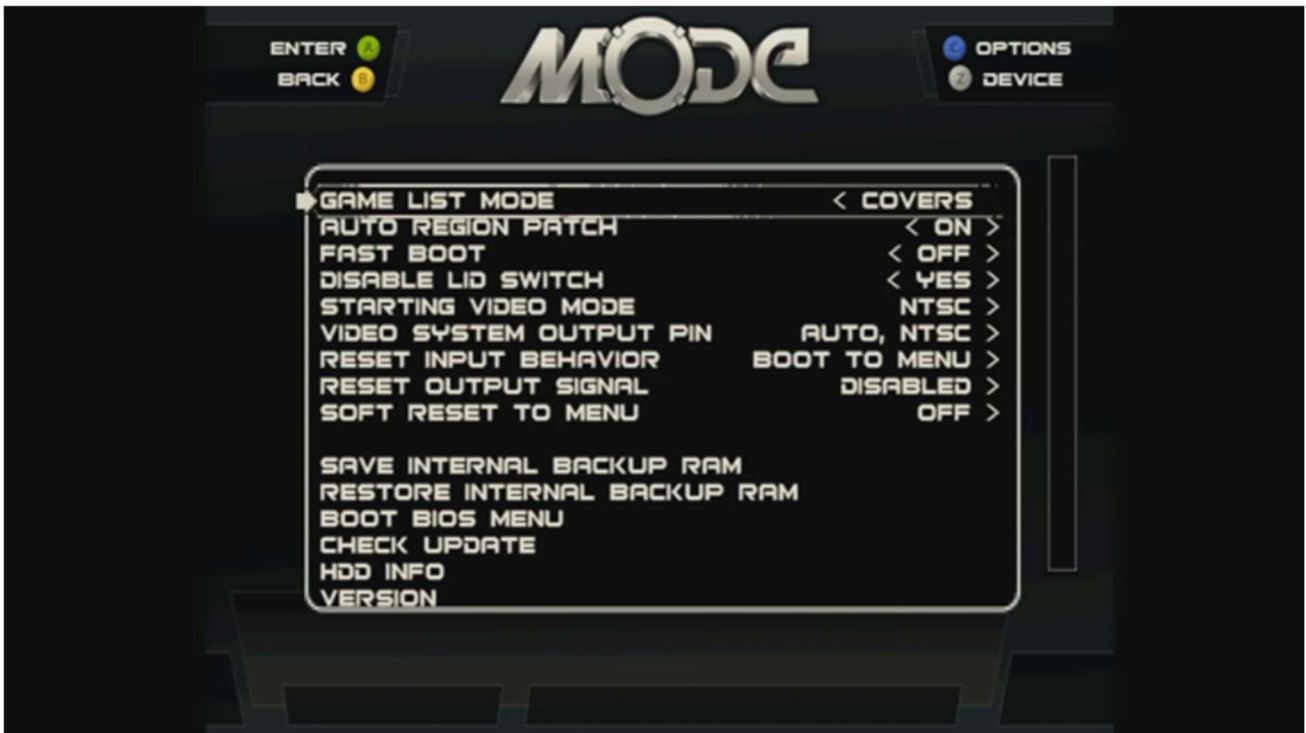




メニュー画面です。上下でリスト選択、左右でページ送りです。ゲームを 100 本近く入れましたがストレスなく動きます。



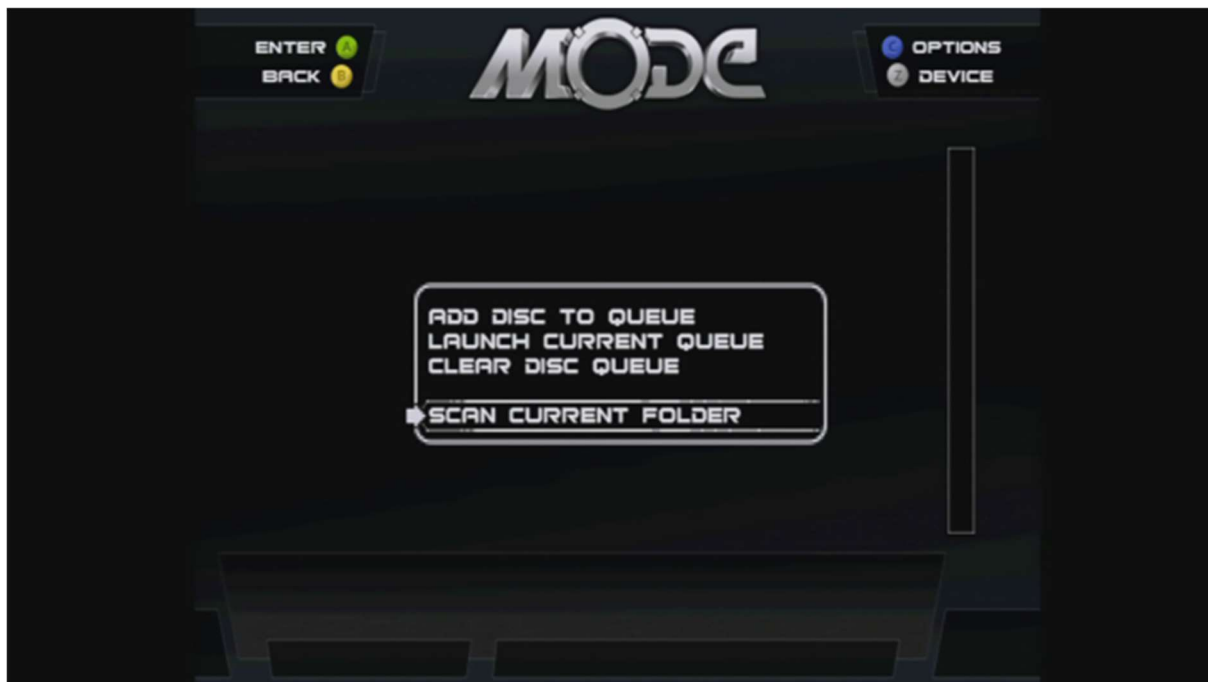
X ボタンで MODE のメニューが表示されます。いくつか項目がありますが今回やってみたいの一番上の「GAME LIST MODE」です。これを「COVER」に変更して カバー表示モードを試してみます。



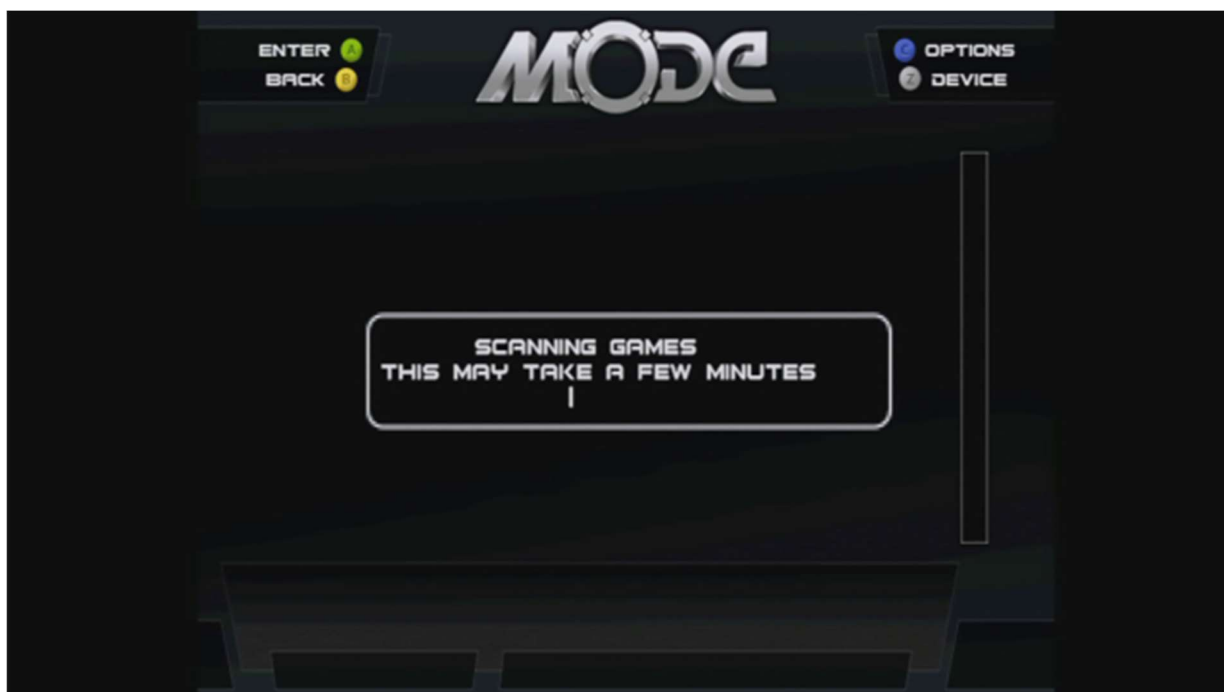
「GAME LIST MODE」を「COVER」に変更後、A ボタンで、以下の表示になります。



この状態ではカバーが表示されていません。A ボタンを長押ししサブメニューを表示させます。

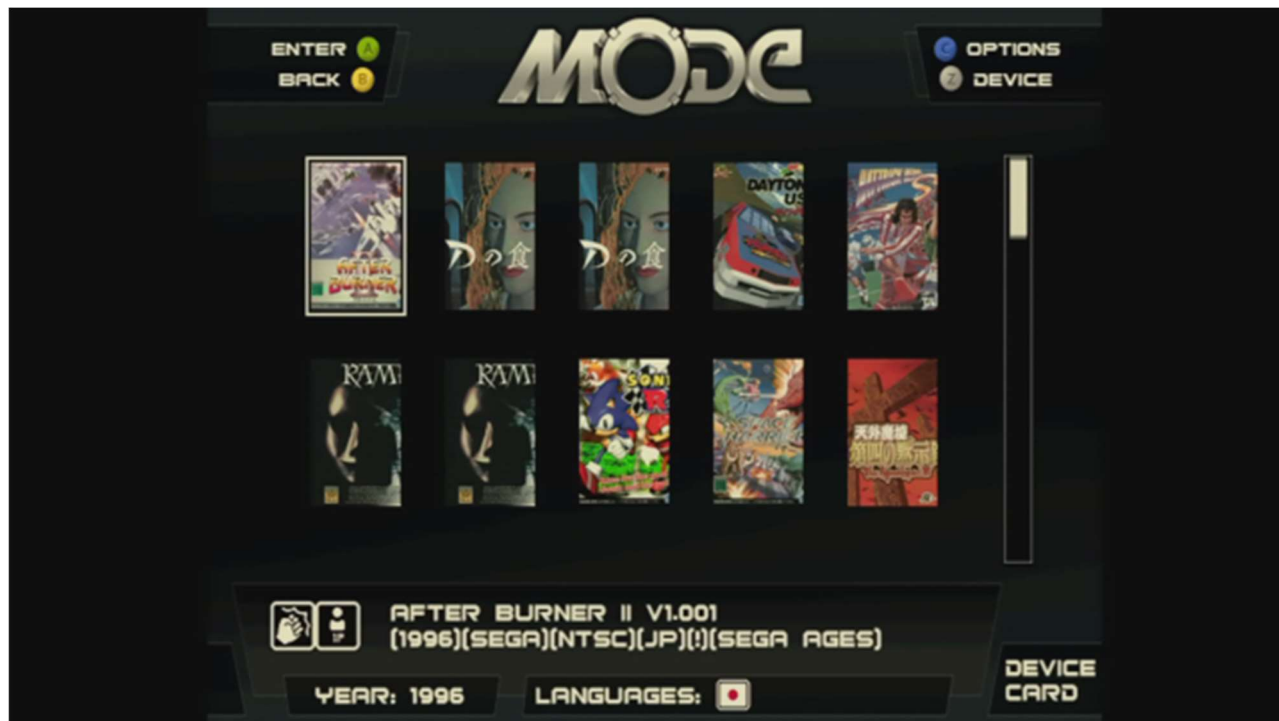


一番下の、「SCAN CURRENT FOLDER」を実行します。



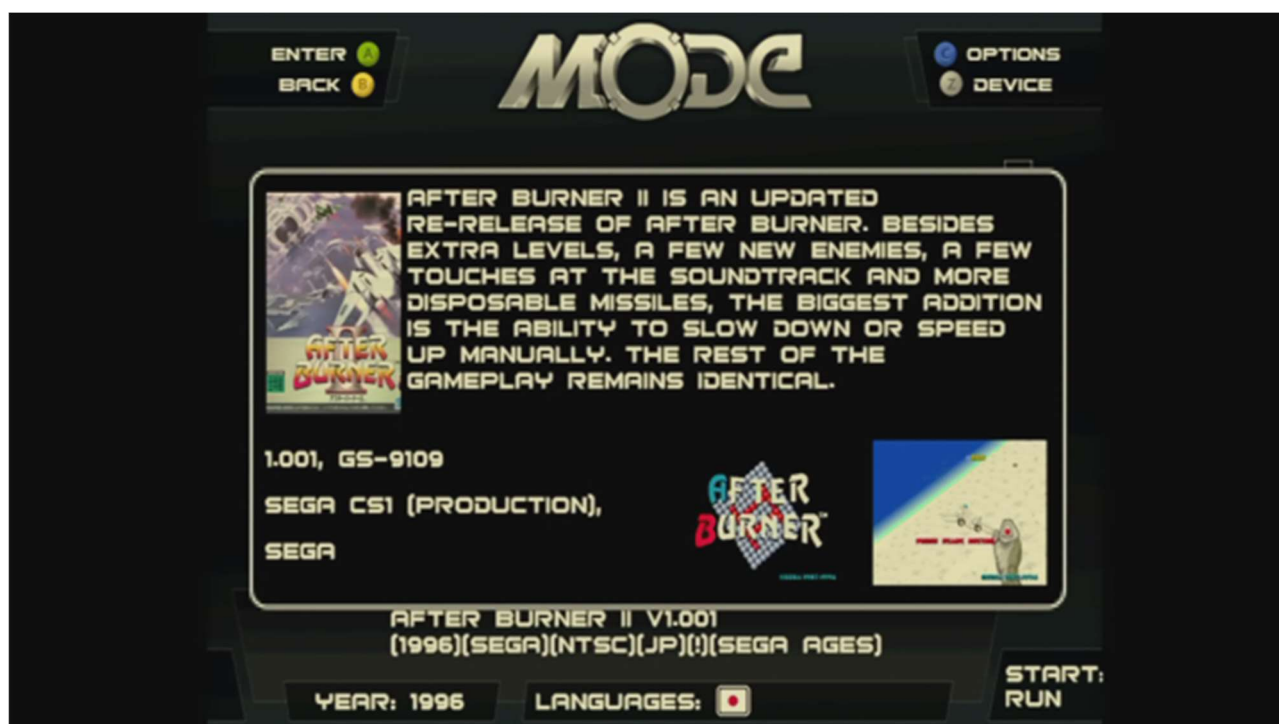
SCAN が終了すると、再度メニューが表示されます。

以下のような感じで、ページ送りに合わせて タイトルのサムネイルがローディングされます。ページが切り替わったときにサムネイルが表示されるのに客観時間がかかりますが、許容範囲だと思います。サムネイルが縦長なのが気になります。出来れば Dreamcast と同じく正方形にしてほしいです。

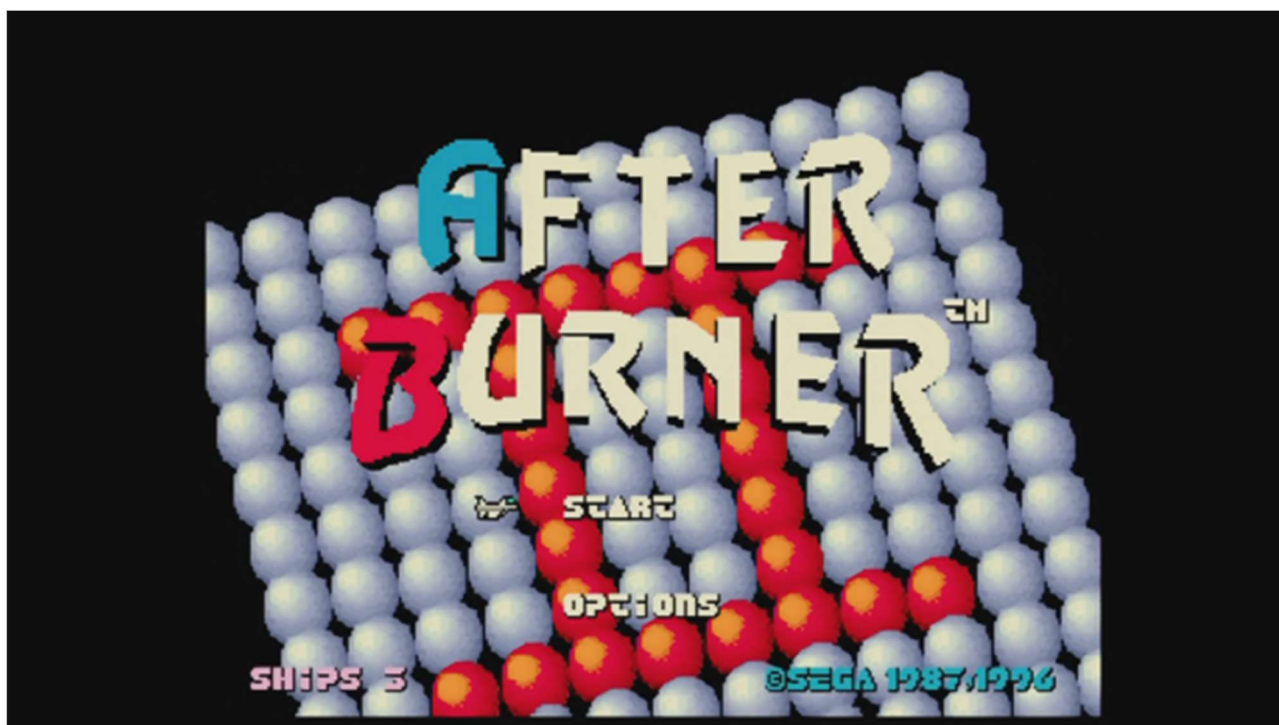


発売日とリージョンも表示されます。

A ボタンを押すと、選択したゲームの説明が表示されます。英語ですが。



スタートボタンでゲーム起動です。



次にディスク入れ替えを試してみます。ディスク入れ替え方法はオンラインマニュアルには以下の3通りの方法が記載されていました。

「サターンディスクの交換は、ディスクの蓋を開け閉めすることで行われます。」とのことなので試してみます。

Aボタン長押しでサブメニューを表示させます。



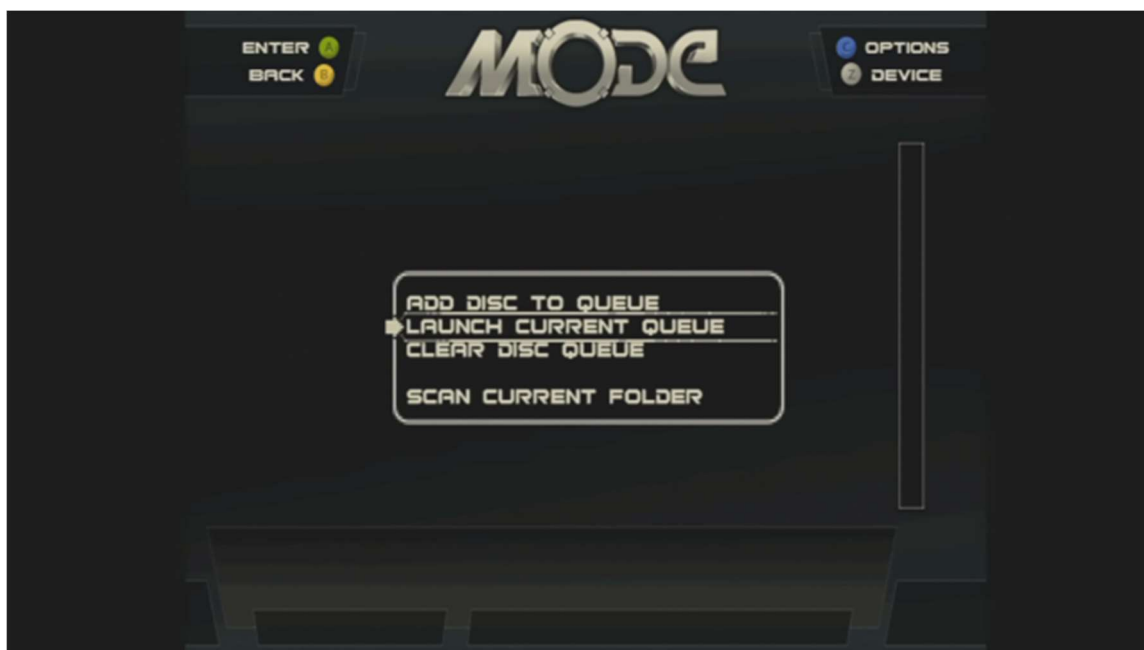
「ADD DISC TO QUEUE」を選択します。

同様に全てのディスクを追加していきます。

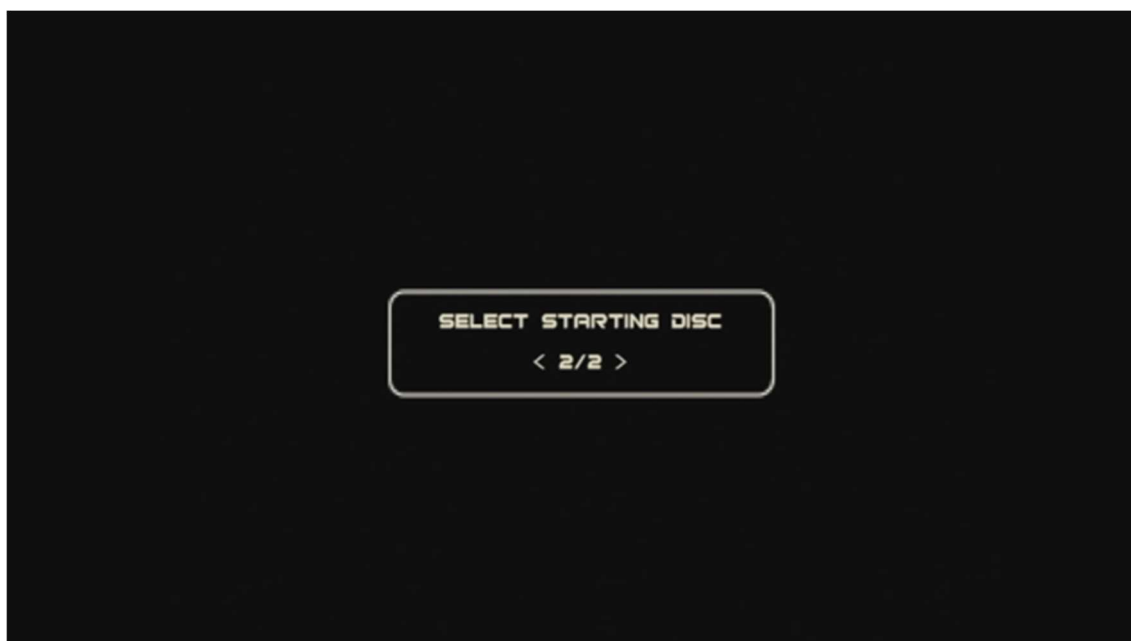


キュー追加されたディスクの枚数が左上に表示されます。

全てのディスクを追加し終わったら、Aボタンを長押しし「LAUNCH CURRENT QUEUE」を選択します。



どのディスクから起動するかを尋ねられるので、今回はテストのため2番目のディスクから起動してみます。



ゲーム起動後、ディスク交換の表示となったところで、Saturn のディスクを開閉してみました反応がありません。。。



仕方ないので、MODE 本体の SW2 を押してディスク交換します。



メニューが表示されるので A ボタンを押してゲームを起動します。

無事一枚目が起動しました。



ちなみに、ディスク交換は 1 → 2 → 3 → 1 というようにローテーションされるようです。

最後に

今回、MODE の取り付けから簡単な動作の確認まで試してみました。Saturn 向けのドライブエミュレータは Rhea/Phoebe がありますが、なかなか入手することが出来なく他のドライブエミュレータが出るのを待ち望んでました。MODE は SD カードのほか、SSD や USB メモリも使用できるためコストを抑えてゲームを詰め込むことができるのはとても大きいメリットだと思います。UI も思ったよりもサクサクでまったくストレスを感じませんでした。特に COVER モードは見ているだけで楽しめます。今回試せませんでしたがいくつかのオプションメニューでまだまだできることがありそうですので試していきたいです。